



宗像国際環境100人会議

MUNAKATA Eco-100 International Symposium

2017

海の鎮守の森 構想

～大いなる海 生命の循環～

2017年 8月 25日(金) 26日(土) 27日(日) 開催

要事前申込み 一部参加費有料

「宗像国際環境100人会議」は、海をメインテーマに、世界の各分野で活躍するリーダーや、学識経験者たちが集まり、地球環境問題について解決策を協議するフォーラムです。また会議には中・高・大学生たちも参加し、次世代の真の国際人を育成することも期待しています。

1回目はIPCC(気候変動に関する政府間パネル)のパチャウリ議長、ノーベル平和賞を受賞したラモス元東ティモール大統領、スウェーデンのスヴィンソン海洋・海・水担当大使らも参加いただき、2回目はその成果として「宗像宣言」を採択し、宣言文を山本環境大臣に提出、さらには日本ユネスコ協会を通じてユネスコ本部にも提出しました。3回目からは地元宗像で宗像国際環境会議実行委員会を組織し、1、2回目でグローバルな視点で議論したことを、宗像で実践していく「Think Global, Act local」を合い言葉に、竹魚礁作り、漂着ゴミ清掃などにも取り組んできました。

4回目となる今年は、「大いなる海 生命の循環」をテーマに掲げプログラムを構成し、初日は、世界の環境について映像を見ていただき、それからシンポジウムを行います。会議2日目には、恒例となりましたフィールドワークを行います。今回も海女の発祥の地・鐘崎の海に福岡県立水産高等学校アクアライフ科の生徒たちが行ってきた「豊かな海づくり Project-T」の取組みの中から、竹の伐採～竹魚礁の組立～海中設置までの一連の取組みを皆さまと一緒に行っていきたいと考えています。また白砂青松のさつき松原及び大島の遙拝所の下の海岸に打ち寄せられる漂着ゴミの清掃も行います。

3日目は特別上映として『地球交響曲 ガイアシンフォニー』の中で、宗像の取組みにもインスパイアを与えてくれる作品を選んで上映いたします。その後、市民公開シンポジウムを行ない、海の世界、更には海につながる川、里、森の環境について、私たちが今、これから何をすべきかについて語り合い、最終的により実践的な行動目標を記した『宗像イニシアティブ』としてまとめていきます。

主催：宗像国際環境会議実行委員会 共催：宗像市 後援：環境省、福岡県

【宗像国際環境会議実行委員会構成団体】：宗像観光協会、宗像漁業協同組合、宗像大社、筑前七浦の会、宗像環境団体連絡協議会、一般社団法人九州のムラ、特定非営利活動法人改革プロジェクト、宗像フェス事務局、株式会社ジェイワーク、キリンビール株式会社、シャボン玉石けん株式会社、新日鉄住金エンジニアリング、新日鉄住金株式会社、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、株式会社パワージャパンプリュス、一般社団法人 UMI・SACHI 推進会議、九州大学大学院 工学研究院、宗像市(順不同)

PROGRAM

8月25日(金) 会場：玄海ロイヤルホテル(宗像市)

12:00 受付 / 13:00 開始

13:20～ 第1部 映像で見る地球環境

15:45～ 第2部 地元漁師からのお話
第3部 シンポジウム「50年前の海を取り戻すために」

18:30～ オープニングパーティー(要参加費)

8月26日(土) 会場：宗像市内各フィールド

9:00 フィールドワーク開始(詳細は裏面参照)

12:00 お弁当(地元食材利用)

14:00 玄海ロイヤルホテルにて分科会(見学自由)
「大島」の間：地元環境団体×企業の連携宗像環境プロジェクト
「地島」の間：宗像国際育成プログラム 公開講義 黒田玲子塾長
「勝島」の間：高校生、大学生の環境活動発表会

8月27日(日) 会場：カメラホール(福津市)

9:00 受付 / 9:20 開始

9:30 特別上映『地球交響曲』、市民公開シンポジウム

11:15 シンポジウム『森里川海、命の循環』

宗像国際環境会議は 実践型会議を目指し、 今年も参加者全員参加の フィールドワークを 実施します。



*フィールドワークは下記の3プロジェクトを用意しております。お申し込みの際はご希望のプロジェクトを選択してください。
*参加者多数の場合は、ご希望に添えない場合もございますので、予めご了承くださいませ。
*フィールドワーク参加費（材料費、昼食代1000円程度）が必要となる場合がございます。詳細は後日ご連絡いたします。

フィールドワーク

1

鐘崎・海の鎮守の森づくりプロジェクト

海女さん発祥の地・鐘崎の海に、福岡県立水産高等学校アクアライフ科の生徒さん直伝の「竹魚礁」を作り、設置します。当日はチームに分かれ、竹を割って、組み立て、願いを竹の短冊に書き、出来上がった竹魚礁を海に設置するまでの作業を行います。

フィールドワーク

2

さつき松原・漂着ゴミ清掃 マイクロプラスチック収集

共催：公益財団法人海と渚環境美化油濁対策機構

海岸に打ち寄せられるゴミは、釣川の流域からの投棄されたもの、遠く韓国、中国など国境を超え流れ着いた漂着ゴミなどです。海を漂うゴミ、海底に沈んでいるビニールなど、これらは地元漁師が仕掛けた網にもからまってきています。ビニールは劣化し、やがてマイクロプラスチックに。当日はふるいも使って粒子も採集します。

フィールドワーク

3

大島・沖ノ島遙拝所下 漂着ゴミ清掃

沖ノ島を望む大島の沖ノ島遙拝所。その下の海岸には、海流、風に乗って海を渡って中国、韓国、東南アジアから日々多くのゴミが漂着してきます。そのゴミはまた海を漂い世界に拡散されていきます。100人会議では、まずは現場に行って自分たちがやれることから海の環境保全を実践し、また今後何が出来るのか、考えてみたいと思っています。

○事前のお申し込みが必要です。

WEBサイトからご参加される日、オープニングパーティー、フィールドワーク及びその後の分科会をご選択いただき、お申し込み願います。

<http://www.munakata-eco100.net>

問い合わせ先 宗像国際環境会議実行委員会 info@munakata-eco100.net

○会場までのアクセス

25、26 日会場

玄海ロイヤルホテル

福岡県宗像市田野1303
TEL 0940-62-4111

27 日会場

カメラリアホール

福岡県福津市津屋崎1-7-2
TEL 0940-52-3321



福岡空港	車・タクシー	約60分(約45km)	博多駅	車・タクシー	約20分(約10km)	東郷駅	路線バス 鐘崎行瀬戸下車	約25分(約10km)
	地下鉄	約5分		JR鹿児島本線	快速 約30分			
小倉駅	JR鹿児島本線	快速 約40分	福岡空港	車・タクシー	約50分(約25km)	博多駅	車・タクシー	約10分(約5km)
	車・タクシー	約60分(約45km)		地下鉄	約5分		JR鹿児島本線	快速 約25分
小倉駅	JR鹿児島本線	快速 約45分	福岡空港	車・タクシー	約85分(約50km)	博多駅	車・タクシー	約10分(約5km)
	車・タクシー	約60分(約45km)		地下鉄	約5分		JR鹿児島本線	快速 約25分

ご注意

ご宿泊を希望される方はご自身の予約をお願いしています。宗像観光ガイド(<http://www.muna-tabi.jp>)に宿泊リストが掲載されていますので、ご参照ください。ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせくださいませ。上記、WEBサイトにお申し込みいただいた方々には、事務局より改めて詳細情報ご案内させていただきます。